

## 特別支援学校高等部 情報

### 解答についての注意点

- 1 問題は、教科等に関する大問 **1** ～大問 **3**、特別支援教育に関する大問 **4** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** については、記述式解答用紙に、大問 **2** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **2** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



1 次の (1) ~ (5) の問いに答えよ。

(1) 10進数の分数  $\frac{55}{64}$  を 2進数の小数で表して答えよ。

(2) 整数  $x, y$  ( $x > y \geq 0$ ) に対して、次のように定義された関数  $Z(x, y)$  がある。

$Z(417, 39)$  の値は幾らか、答えよ。ここで、 $x \bmod y$  は  $x$  を  $y$  で割った余りを返す。

$Z(x, y) : \text{if } y = 0 \text{ then return } x \text{ eles return } Z(y, x \bmod y)$

(3) 次のBNFで定義される〔規則〕に基づいた場合、<式>として成立するものはどれか。

1 ~ 5 から当てはまるものをすべて選び、選択肢の番号で答えよ。

〔規則〕 <式> ::= <変数> | (<式> - <式>) | <式> \* <式>  
<変数> ::= W | X | Y | Z

- 1  $W - (X - Y) * Z$
- 2  $(W - X) * (Y - Z)$
- 3  $(W * X) - (Y * Z)$
- 4  $(W - (X - Y)) * Z$
- 5  $Z * (X - Y) * (Y - Z) * (Z - X)$

(4) 5分の音声信号(ステレオ)を、標本化周波数192kHz、量子化ビット数24ビットのPCM方式でデジタル化した場合、データ量は何Mバイトか求めよ。また、解答に至るまでの過程もあわせて記しなさい。但し、1Mバイト=1,000kバイト、1kバイト=1,000バイトとし、デジタルデータの圧縮は行わないものとする。

(5) 次のア～ウの問いに答えよ。

ア 関係データベースに対して行うデータ操作として関係演算がある。

この関係演算のうち、「射影」と「選択」について、両者の違いを明確にして説明せよ。

その際、必ず下記の枠内にある4つの言葉を用いて説明すること。(4つの言葉は何度用いてもよい。)

表	・	条件	・	行	・	列
---	---	----	---	---	---	---

イ 次の表Aに対して関係演算の操作を何度か行い、表Bの結果を得た。

この表Aから表Bを作成する過程において必要となる関係演算の操作について、以下の条件に従い、説明せよ。

(イ) 関係演算の操作の手順を明確にするため、番号(①、②など)を付けて説明すること。

(ロ) 各手順での関係演算の操作内容については、出来るだけ詳しく説明するとともに、必要に応じて「射影」・「選択」の言葉を用いること。

表A

学生番号	コース	情報1	情報2	データベース	平均点
10101	専修	60	50	100	70
10102	基礎	40	90	50	60
10103	基礎	60	40	80	60
10104	専修	100	90	80	90
10105	基礎	70	90	80	80
10201	基礎	70	40	70	60
10202	基礎	60	60	90	70
10203	専修	70	70	40	60
10204	基礎	100	70	100	90
10205	基礎	90	40	50	60

表B

学生番号	コース	平均点
10104	専修	90
10105	基礎	80
10204	基礎	90

ウ 下に示す“履修一覧”表と“担当者”表を自然結合した結果を書け。

履修一覧

学生番号	科目名
1001	情報2
1002	情報1
1002	データベース
1003	情報1
1003	情報2
1004	情報2
1005	情報1

担当者

科目名	担当者名
情報1	大阪
情報2	池田
データベース	岬

2 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) ISO(国際標準化機構)によって定められたOSI基本参照モデルに対応した通信プロトコルのうち、TCP/IPというプロトコルがある。TCP/IPは、世界中の多くのコンピュータやソフトウェアで使われており、デファクトスタンダードとなっている。

下の表は、OSI基本参照モデルとTCP/IPの対応を表している。次のア～エの問いに答えよ。

階層	OSI基本参照モデルの階層	TCP/IPの階層
7	アプリケーション層	①
6	プレゼンテーション層	
5	セッション層	
4	トランスポート層	トランスポート層
3	ネットワーク層	②
2	データリンク層	③
1	物理層	

ア OSI基本参照モデルにおけるプレゼンテーション層の説明として、最も適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 経路選択を行うルーティング機能とその中継機能に関するプロトコルを規定
- 2 伝送するデータの表現形式に関するプロトコルを規定
- 3 ケーブルや電気信号など、電気・物理的なレベルに関するプロトコルを規定
- 4 隣接するシステム間で誤りのないデータ伝送を行うためのプロトコルを規定
- 5 ファイル転送や電子メールなど通信サービスに対応するプロトコルを規定

イ HDLC手順が該当するOSI基本参照モデルの階層はどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 プレゼンテーション層
- 2 セッション層
- 3 トランスポート層
- 4 ネットワーク層
- 5 データリンク層

ウ 表中の空欄①～③に該当する語句について、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

	①	②	③
1	アプリケーション層	インターネット層	ネットワークインタフェース層
2	プレゼンテーション層	インターネット層	ネットワークインタフェース層
3	アプリケーション層	インターネット層	データリンク層
4	プレゼンテーション層	ネットワークインタフェース層	データリンク層
5	アプリケーション層	ネットワークインタフェース層	インターネット層

エ TCP/IPの階層において、トランスポート層に属するプロトコルはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 TELNET      2 FTP      3 HTTP      4 UDP      5 SMTP

(2) 次の二人の会話文を読み、次のア～エの問いに答えよ。

Aさん 職員室の自分のPCからWebページに繋がらなくなったんです。

Bさん それは大変ですね。  
HUBの電源が切れていたり、LANケーブルが抜けていたりしないですか。

Aさん それは確認しましたが、問題なかったです。

Bさん それでは、PCに割り当てられている<sup>a</sup> IPアドレスを確認するために、AさんのPCから  コマンドを実行してみましょう。

Aさん どうですか？

Bさん 特に問題ないみたいです。  
それでは、次にプロキシサーバへ正しく通信できているか確認するために、  
 コマンドを実行してみましょう。

Aさん どうですか？

Bさん 正しく応答が返ってきましたので、これも問題ないみたいです。  
では、次に<sup>b</sup> DNSサーバの設定を確認するために、 コマンドを実行してみましょう。

Aさん 今度はどうですか？

Bさん あっ、エラーになりました。  
DNSサーバの設定に誤りがあったようなので、修正しました。  
確認してみてください。

Aさん ちゃんとWebページにアクセスすることができました。  
ありがとうございます。

ア 文章の空欄①～③に該当する語句について、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

	①	②	③
1	ping	ipconfig	nslookup
2	ipconfig	ping	arp
3	arp	ping	netstat
4	nslookup	netstat	arp
5	ipconfig	ping	nslookup



イ 次の各文のうち、下線部 a に関する記述の内容として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A IPv4において、IPアドレスはネットワーク部とホスト部から構成されており、ホスト部がすべて‘0’のものをブロードキャストアドレスという。
- B グローバルIPアドレスは、直接インターネットに接続する機器に割り振られているIPアドレスで、世界中で重複しないように発行されている。
- C IPv4において、「172.31.255.255」のIPアドレスは、クラスBのプライベートIPアドレスである。
- D IPv4において、先頭の1バイトが127で始まるIPアドレスは、自分自身を指す特別なアドレスでループバックアドレスという。
- E 32ビットのIPアドレスであるIPv4に対し、IPv6は64ビットで構成されている。

	A	B	C	D	E
1	×	○	○	○	○
2	×	×	○	×	×
3	×	○	○	○	×
4	○	×	×	×	×
5	○	○	×	○	○

ウ 下線部 a について、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを1対1で相互変換する技術はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

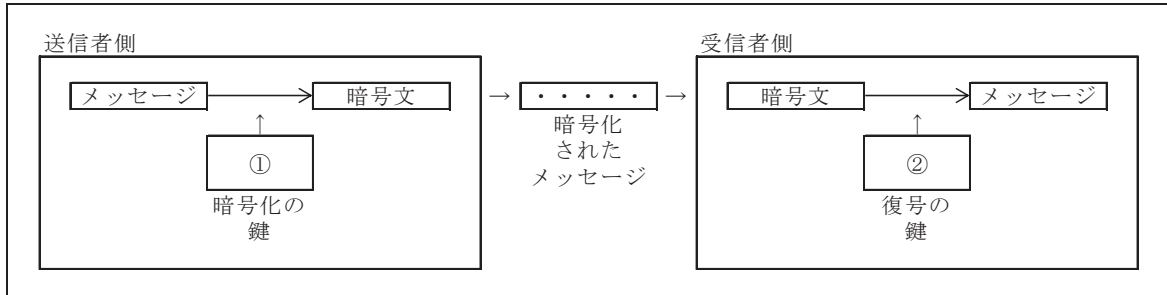
- 1 DHCP            2 VDI            3 CGI            4 NAT            5 NAPT

エ 下線部 b の役割として、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 Webサーバと外部プログラムを連携させる。
- 2 HTMLファイルを転送し、WWWを実現する。
- 3 使っていないIPアドレスを自動的に割り当てる。
- 4 Webサービスなどで、XML形式で記述したメッセージを交換する。
- 5 ドメイン名とIPアドレスの対応付けを管理する。

(3) 情報セキュリティについて、次のア～エの問いに答えよ。

ア 下の図は公開鍵暗号方式の仕組みについて示している。①、②に該当する語句について、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は



- |   | ①        | ②        |
|---|----------|----------|
| 1 | 送信者側の公開鍵 | 送信者側の秘密鍵 |
| 2 | 送信者側の秘密鍵 | 送信者側の公開鍵 |
| 3 | 送信者側の公開鍵 | 受信者側の秘密鍵 |
| 4 | 受信者側の公開鍵 | 受信者側の秘密鍵 |
| 5 | 受信者側の秘密鍵 | 受信者側の公開鍵 |

イ インターネット上で安全にデータをやり取りするために、公開鍵暗号方式や共通鍵暗号方式などのセキュリティ技術を使って、Webサーバとクライアント間の通信を暗号化するプロトコルはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

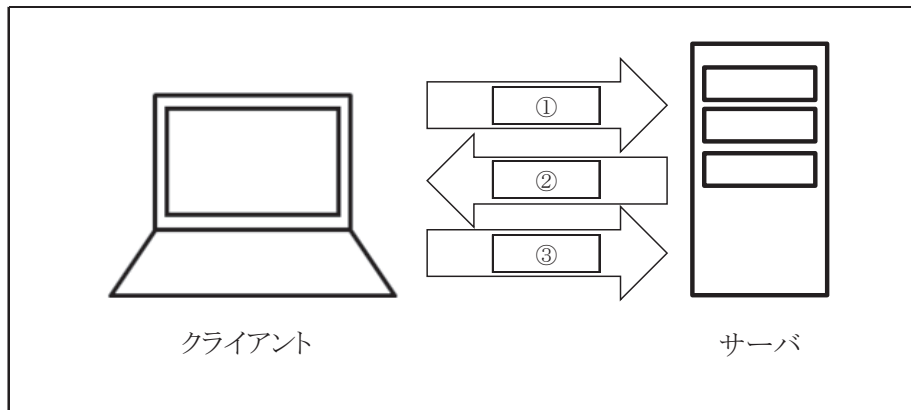
- 1 CA      2 SSL      3 IPsec      4 S/MIME      5 PEM

ウ Webシステムの不正利用を防ぐための方法の一つに、ワンタイムパスワードを利用する方法がある。ワンタイムパスワードに関する説明として、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ワンタイムパスワードは、一定時間が経過すると無効となるものがある。
- ワンタイムパスワードは、一定時間内であれば何度も利用することができる。
- ワンタイムパスワードは、通信経路上で盗聴された場合のリスクを低減することができる。
- ワンタイムパスワードは、トークンを用いて生成されるものがある。
- ワンタイムパスワードの生成・共有方法の一つに、時刻同期式（時間同期式）がある。

エ 下の図はワンタイムパスワードの生成・共有方式の一つである、チャレンジレスポンス方式について表している。図中の空欄①～③に該当する語句について、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は



※なお、クライアント・サーバ間の通信は①、②、③の順番に行われるものとする。

- |   | ①     | ②     | ③     |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | チャレンジ | レスポンス | ユーザID |
| 2 | チャレンジ | ユーザID | レスポンス |
| 3 | ユーザID | チャレンジ | レスポンス |
| 4 | ユーザID | レスポンス | チャレンジ |
| 5 | レスポンス | チャレンジ | ユーザID |

3 次の(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) 次の文章を読み、次のア～エの問いに答えよ。

私たちの身の回りには、様々な情報システムが存在している。例えば、コンビニエンスストア等にあるPOSシステムはその一つで、a バーコードを、POSレジスターに接続したバーコードリーダーで読み取り、価格や商品名などを入力する。同時に店員の判断で、客の年齢層や性別などの情報を入力する場合もある。これらの情報はネットワークを通じてサーバ等に送信され、在庫管理等に役立てられている。

こういった情報システムを設計する際には、次の点などに留意する必要がある。

一点目は、障害発生時の対応方針を定めておくということである。b 例えば、信号機が故障したときには、事故が起こらないように常に赤色を表示させるようにするなどのシステム設計が必要である。

二点目は、様々な利用者を想定しておくということである。c 多くの人にとって使いやすいシステムを作るということは、よりよい情報社会の実現のためにも重要なことである。

ア 下線部 a について、バーコードには読み取りの誤りを検知するために、コードの最後に一定の計算に基づいてチェックディジットを付加している。下記の手順に基づいて付加するとき、次のコードに付加する数値はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

※チェックディジットを付加するコード : 498765678901

<チェックディジットの計算手順：JANコード（標準タイプ）における計算方法>

- ① 求めるチェックディジットを1桁目として、右端から左方向に「桁番号」を付ける。
- ② すべての偶数桁の数字を加算する。
- ③ ②の結果を3倍する。
- ④ すべての奇数桁の数字を加算する。
- ⑤ ③の結果と④の結果を加算する。
- ⑥ ⑤の結果の下1桁の数字を10から引いたものが求めるチェックディジットとなる。  
※下1桁が0となった場合は、求める数値は「0」となる。

例) 498765432101 ⇒ 8

1 0            2 1            3 2            4 3            5 4

イ 下線部 a に関連して、データの誤り検出や訂正の方法について、次の説明のうち適切でないものはどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 パリティチェックには、偶数パリティチェック、奇数パリティチェックがある。
- 2 パリティチェックでは、1 ビットの誤りを検出できるが、訂正はできない。
- 3 パリティチェックでは、2 ビットの誤りがあると、誤りの検出ができない。
- 4 水平方向と垂直方向のパリティビットを付加すると、1 ビットの誤りは検出でき、訂正もできる。
- 5 水平方向と垂直方向のパリティビットを付加しても、2 ビットの誤りの検出はできない。

ウ 障害発生時に、下線部 b のように動作するよう設計する考え方はどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- |           |               |           |
|-----------|---------------|-----------|
| 1 フェールセーフ | 2 フェールソフト     | 3 フールプルーフ |
| 4 フォールバック | 5 フォールトアボイダンス |           |

エ 下線部 c に関連して、次の①・②の説明に該当する語句について、正しい組合せはどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- ① 障がい、年齢、性別、国籍などにかかわらず、誰もが使える設計をいう。
- ② ある製品が、指定された利用者によって、指定された利用の状況下で、指定された目的を達成するために用いられる際の、有効さ、効率及び利用者の満足度の度合い。

- |   | ①          | ②          |
|---|------------|------------|
| 1 | アクセシビリティ   | ユーザビリティ    |
| 2 | アクセシビリティ   | ユニバーサルデザイン |
| 3 | ユニバーサルデザイン | アクセシビリティ   |
| 4 | ユニバーサルデザイン | ユーザビリティ    |
| 5 | ユーザビリティ    | アクセシビリティ   |

(2) Webシステム開発においては、さまざまな攻撃に備えた対策が必要である。下は代表的な攻撃についてまとめたものである。次のア～ウの問いに答えよ。

ア 次の攻撃の説明について、該当する語句をそれぞれ1～5から一つ選べ。

解答番号は 、、

…… 不正なSQL文を入力することでデータベースを操作したり、データベースに登録された個人情報などを不正に取得したりする攻撃手法。

…… ユーザの入力データを処理するWebアプリケーションや、Webページを操作するJavaScript等に存在する脆弱性を悪用し、ユーザのPC上で不正なスクリプトを実行させる攻撃手法。

…… Webアプリケーションのユーザ認証やセッション管理の不備を突いて、サイトの利用者に、Webアプリケーションに対する不正な処理要求を行わせる攻撃手法。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 SQLインジェクション    | 2 クロスサイトスクリプティング    |
| 3 OSコマンドインジェクション | 4 クロスサイトリクエストフォージェリ |
| 5 セッションハイジャック    |                     |

イ 利用者がWebサイトに入力した内容に含まれる有害な文字列を無害な文字列に置き換える操作はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- |           |           |                |
|-----------|-----------|----------------|
| 1 サニタイジング | 2 フィルタリング | 3 リバースエンジニアリング |
| 4 ストリーミング | 5 テザリング   |                |

ウ Webシステムに対して、実際に侵入を試みることで、システム上の弱点を発見する疑似攻撃テストはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- |              |               |               |
|--------------|---------------|---------------|
| 1 トップダウンテスト  | 2 ボトムアップテスト   | 3 ホワイトボックステスト |
| 4 リグレーションテスト | 5 ペネトレーションテスト |               |

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

4 特別支援教育に関連する法令や近年の動向について、次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、障害者基本法(平成25年6月26日改正)の第三条の条文である。空欄A～Cに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

第三条 第一条に規定する社会の実現は、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを前提としつつ、次に掲げる事項を旨として図られなければならない。

- 一 全て障害者は、として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること。
- 二 全て障害者は、可能な限り、どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会においてすることを妨げられないこと。
- 三 全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、のための手段についての選択の機会の拡大が図られること。

	A	B	C
1	社会を構成する一員	他の人々と共生	情報の収集又は整理
2	地域を構成する一員	自立して生活	情報の収集又は整理
3	社会を構成する一員	他の人々と共生	情報の取得又は利用
4	社会を構成する一員	自立して生活	情報の取得又は利用
5	地域を構成する一員	自立して生活	情報の取得又は利用

(2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針」(平成27年2月24日閣議決定)に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ア 行政機関等においては、その事務・事業の公共性に鑑み、障がい者差別の解消に率先して取り組む主体として、不当な差別的取扱いの禁止が法的義務とされているが、事業者については努力義務である。
- イ 障がい者の事実上の平等を促進し、又は達成するために必要な特別の措置、例えば、障がい者を障がい者でない者と比べて優遇する取扱い(いわゆる積極的改善措置)については、不当な差別的取扱いには当たらない。
- ウ 対象となる障がい者は、いわゆる障害者手帳を所持した、身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む)、その他の心身の機能の障がいがある者であって、障がい及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものである。
- エ 障がい者差別の解消を効果的に推進するには、障がい者及びその家族その他の関係者からの相談等に的確に応じることが必要であり、国及び地方公共団体においては、相談窓口を明確にするとともに、相談や紛争解決などに対応する職員の業務の明確化・専門性の向上などを図ることにより、体制を整備するものとする。

- 1 アーウ
- 2 アーイ
- 3 アーエ
- 4 イーウ
- 5 イーエ



(3) 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」(平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会)について、次の①、②の問いに答えよ。

① 下の文は、「合理的配慮」の決定に当たっての基本的考え方について述べたものである。空欄A～Dに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

「合理的配慮」を行う前提として、学校教育に求めるものを以下のとおり整理した。

(ア) 障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び共に育つ理念を共有する教育

(イ) 一人一人の状態を把握し、の最大限の伸長を図る教育(確かな学力の育成を含む)

(ウ) 健康状態の維持・改善を図り、をつくる教育

(エ) コミュニケーション及び人との関わりを広げる教育

(オ) を深め自立し社会参加することを目指した教育

(カ) を高めていく教育

	A	B	C	D
1	子どもの個性	生涯にわたる健康の基盤	他者理解	自己肯定感
2	一人一人の能力	生涯にわたる健康の基盤	他者理解	自己肯定感
3	子どもの個性	学齢期における健やかな体	自己理解	自己有用感
4	一人一人の能力	学齢期における健やかな体	他者理解	自己有用感
5	一人一人の能力	生涯にわたる健康の基盤	自己理解	自己肯定感

- ② 下の文は、「多様な学びの場の整備と学校間連携等の推進」について述べたものの一部である。下線部ア～オの語句について正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校は、小・中学校等の教員への支援機能、特別支援教育に関する<sub>ア</sub>教材・教具提供機能、障害のある児童生徒等への指導・支援機能、関係機関等との<sub>イ</sub>連絡・調整機能、小・中学校等の教員に対する研修協力機能、障害のある児童生徒等への施設設備等の提供機能といった<sub>ウ</sub>センター的機能を有している。今後、域内の教育資源の組合せ（スクールクラスター）の中で<sub>エ</sub>ネットワーク機能を発揮し、<sub>オ</sub>通級による指導など発達障害をはじめとする障害のある児童生徒等への指導・支援機能を拡充するなど、インクルーシブ教育システムの中で重要な役割を果たすことが求められる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	○	○	×	○
2	○	○	×	×	×
3	○	×	○	○	○
4	×	○	×	○	×
5	○	×	○	×	○

(4) 学校教育法（平成29年5月改正）又は学校教育法施行規則（平成30年3月改正）における特別支援学校に関する記述のうち、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 特別支援学校では、特別の事情のあるときを除いて、スクールバスを運行しなければならない。
- 2 特別支援学校には、高等部を置かなければならない。
- 3 特別支援学校の高等部の同時に授業を受ける一学級の生徒数は、三十人以下を標準とする。
- 4 特別支援学校の小学部、中学部又は高等部の学級は、特別の事情のある場合を除いては、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の別ごとに編制するものとする。
- 5 特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、国語と算数（数学）のみ、合わせて授業を行うことができる。

(5) 学校教育法施行令（平成29年9月改正）第二十二條の三で定める視覚障害者等の障害の程度について、空欄A～Eに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="A"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="B"/> デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="C"/> が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が <input type="text" value="D"/> によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が <input type="text" value="E"/> 医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が <input type="text" value="E"/> 生活規制を必要とする程度のもの

	A	B	C	D	E
1	○・三	六〇	社会生活への適応	補装具の使用	継続して
2	○・一	六〇	環境の把握	補装具の使用	おおむね六ヶ月以上の
3	○・三	八〇	社会生活への適応	適切な介助	おおむね六ヶ月以上の
4	○・三	六〇	環境の把握	補装具の使用	おおむね六ヶ月以上の
5	○・一	八〇	社会生活への適応	適切な介助	継続して



